

『食の都庄内』旬だより

【トルコぎきょう】



写真1 収穫時期の圃場



写真2 最近流行のラベンダー色

1 庄内地域はトルコぎきょうの主産地

- 山形県の出荷量は全国第5位で、庄内地域は県内の約5割を占めています。鶴岡市、庄内町、酒田市などで栽培され、出荷期間は6月中旬から11月上旬までで、8～10月が出荷盛期となっています。
- 現在は、花が大きくフリルのある八重咲き品種が主力で、白、淡ピンク、青色が多く栽培されています。最近ではラベンダー色の品種も人気です。
- 多くが首都圏や関西など県外に出荷されており、色が多く華やかで扱いやすいため、冠婚葬祭を中心として幅広いシーンで利用されています。

2 手間を惜しまず仕上げて店頭へ

- 品質では、茎が硬い、葉がコンパクトで厚みがある、最後まで咲ききるなど、見た目の良さと鑑賞期間の長さが求められます。このため、花首を硬く仕上げるために発蕾～開花期に灌水を制限する「水切り」や、花に養分を集中させるため、目標数以上の枝や1cmに満たない蕾を摘み取るなど、収穫・出荷まできめ細かい作業が行われています。

3 危機を乗り越えて

- 多発すると多くの株が枯れ上がる「立枯病」という厄介な土壌病害が10年程前から蔓延し、栽培を諦める生産者が続出しました。しかし、ここ3～4年ほど重点的に技術対策を行った結果、相当程度回復しています。

4 買えるところ

- 庄内地域の生花店や鶴岡市、庄内町などの農産物直売所で10月下旬頃まで販売されています。咲いたから収穫するのではなく、最良の状態ですませるための管理を経て店に並ぶトルコぎきょう。ぜひ店頭で手に取ってみてください。